



第6回 新人助産師研修



令和2年2月22日土曜日、山口県看護研修会館において、第6回新人助産師研修「事例検討会」と「心にのこった場面」の症例発表会、および新人助産師研修会閉講式が開催されました。

「事例検討会」では4グループにわかれ、夜勤の勤務中に同時にいろいろなことがあった場合に、メンバーとしてどんな行動をとるかといった事例について検討し、発表してもらいました。どのような情報を取り、優先順位を考えて、ほかのスタッフとどうコミュニケーションをとるかということ、また2年目への課題について意見交換をしてもらいました。各グループとも積極的に話し合いが行われ、他のグループ発表時には熱心に耳を傾けていました。アンケートから、他の人の意見を聞くことによって自身の知識やアセスメントの幅を広げるきっかけになったといった意見がありました。



また午後からは1年間の経験の中で「心にのこった場面」の症例をそれぞれが発表しました。様々な視点からの発表があり、新人同期どうしの他の病院での体験や学びを共有できたと思います。アンケートからも自分の病院で体験することのできないような例を学ぶことができたという意見が多くみられました。山口県立大学浦山教授より一人一人に評価をいただき、自分自身の看護について振り返る機会になったと思います。

閉講式では山口県看護協会西生会長より、このネットワークを大事にしてくださいということと今後の助産師としての活躍への激励のお言葉をいただきました。閉講式後は昨年4月に自分あてに書いた手紙、各プリセプター・教育係からの手紙をおわたししました。いろいろな思いがあった1年だったと思います。今回の研修は換気やマスク着用など、新型コロナウイルスの感染拡大予防に努めながらの開催となりました。委員一同、皆様の健康と、ますますの活躍を期待しています。令和2年度も様々な研修を企画しています。どうぞご参加ください。

